

SYUPPIN®



**2019年3月期
第1四半期決算補足資料**

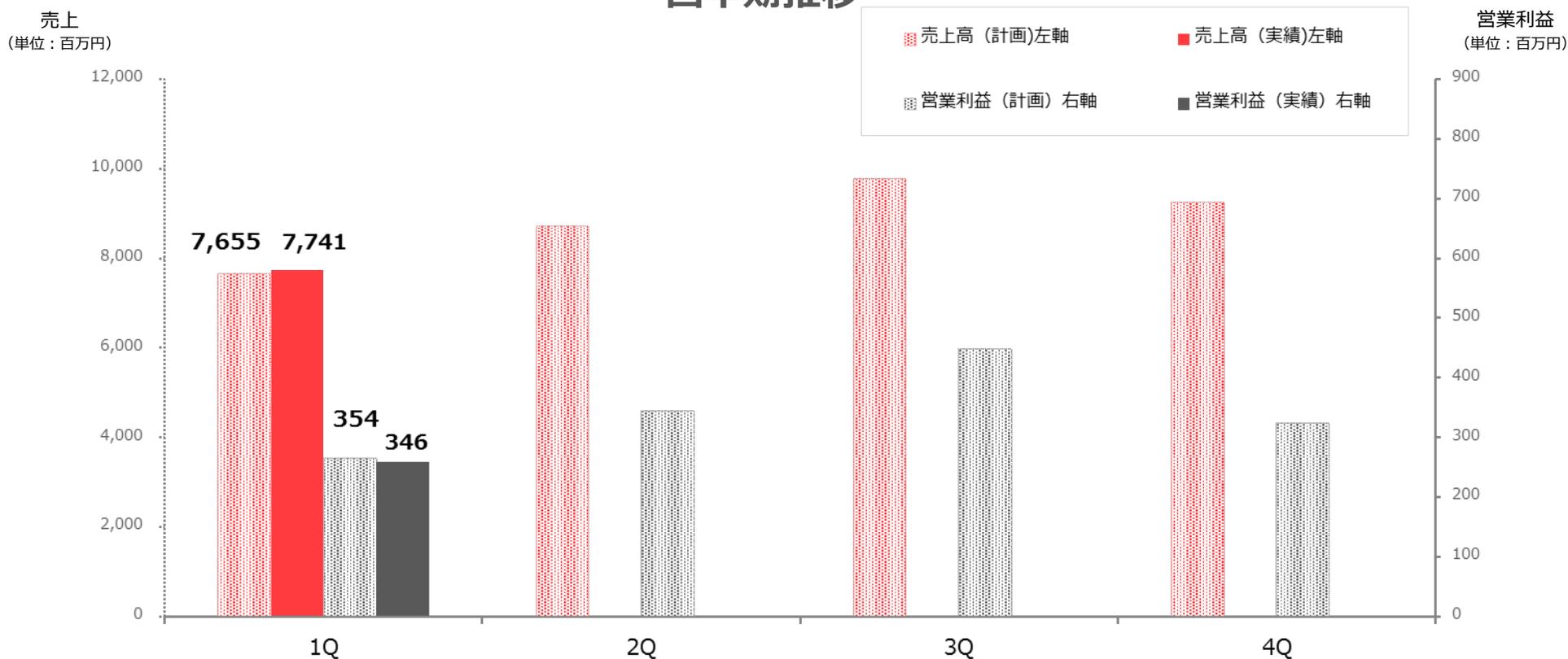
シュッピン株式会社

商号	シュッピン株式会社 Syuppin Co., Ltd.
証券コード	3179
代表者	小野 尚彦
本社所在地	東京都新宿区西新宿1-14-11 Daiwa西新宿ビル3階
設立	2005年8月
事業内容	インターネットを利用して、「価値ある大切な新品と中古品」を安心安全にお取引を行う
従業員数	195名（2018年6月末）

沿革	1994年 8月	専門店屋号「Map Camera」としてカメラ事業を創業
	2005年 8月	当社設立（資本金100,000千円）
	2006年 6月	時計買取・販売事業を開始
	2008年 4月	筆記具買取・販売事業を開始
	2008年11月	スポーツ自転車買取・販売事業を開始
	2012年12月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
	2015年12月	東京証券取引所第一部市場に市場変更

- ▶ **売上、営業利益ともに概ね計画通りでのスタート**
 - ▶ **売上高：前年同期比+14.8%、計画を上回る** →カメラ・時計の新品、中古ともに好調持続
 - ▶ **営業利益：前年同期比+8.5%**
- 18年3~4月に実施した物流スペース拡張、中古カメラの買取から商品化までの業務効率化の体制整備を進めながら、ほぼ計画通りに利益進捗

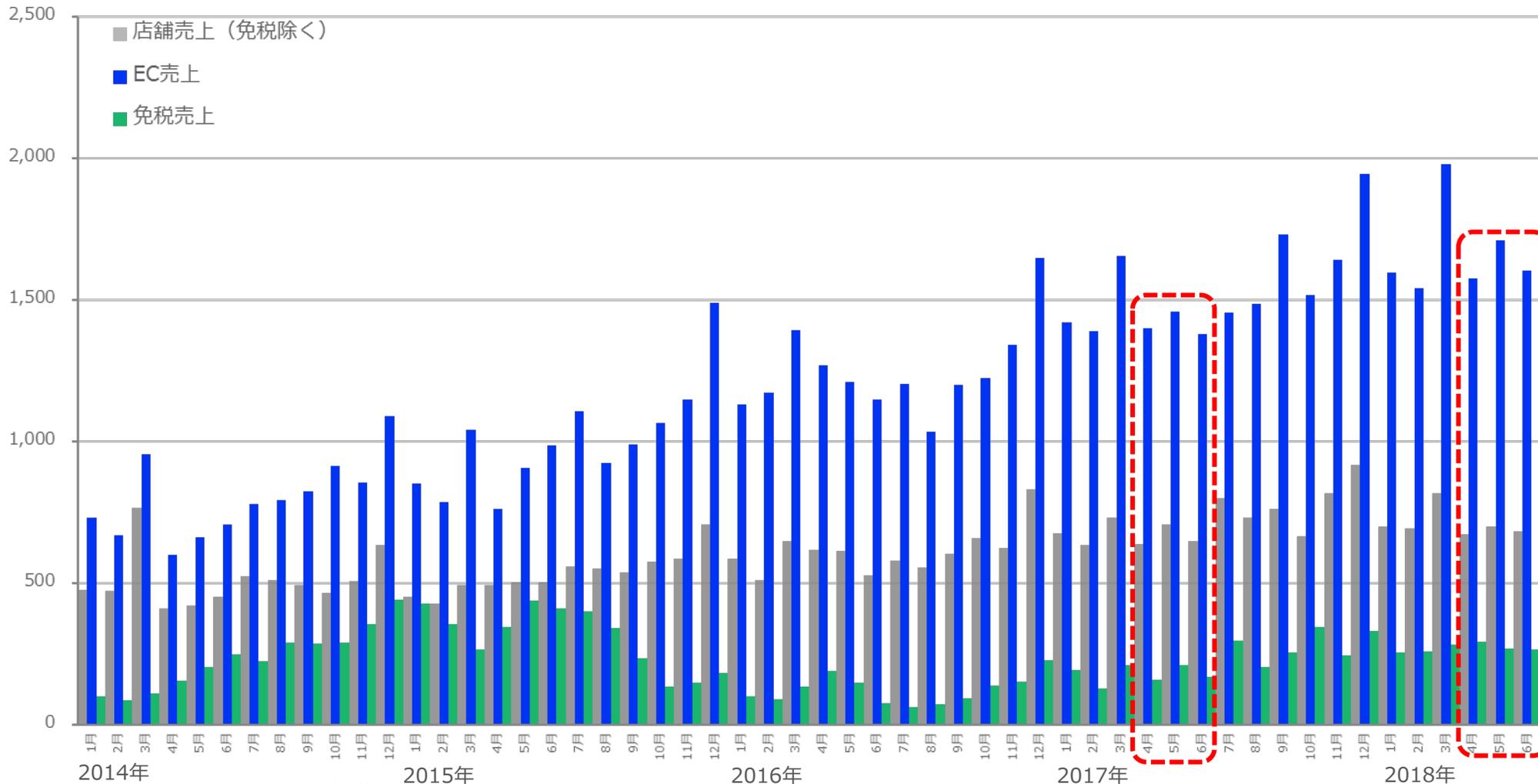
四半期推移



1Q決算ハイライト：チャンネル別売上高推移

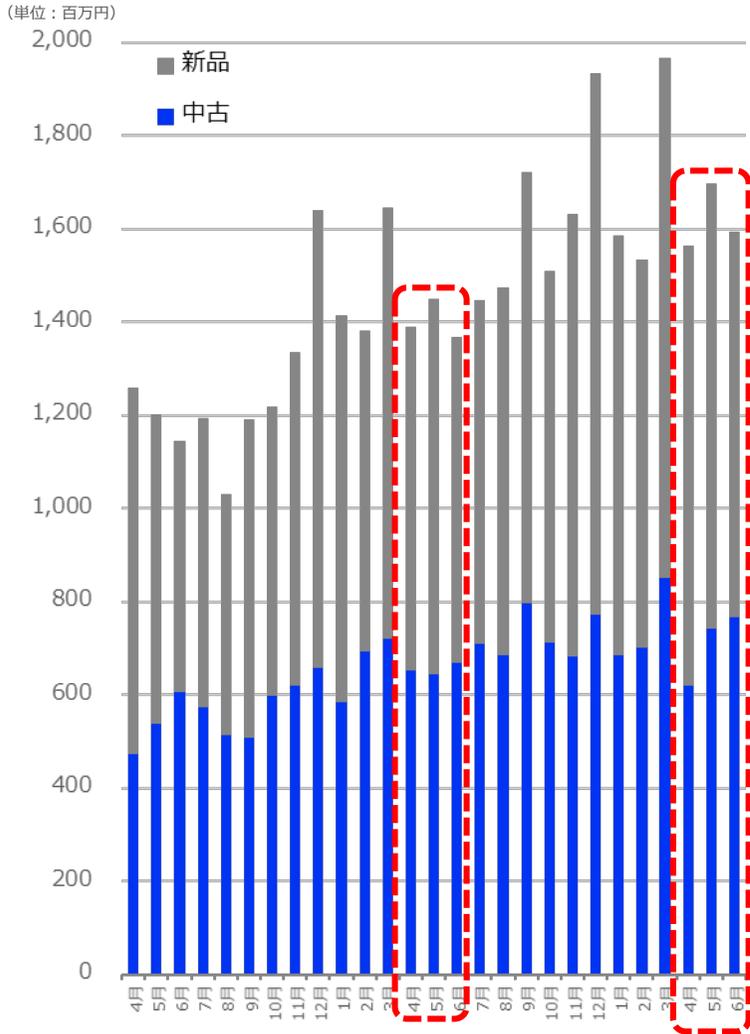
- ▶ すべてのチャンネル順調に推移
- ▶ EC売上高は、各月ともに前年同月比12%~17%増

(単位：百万円)

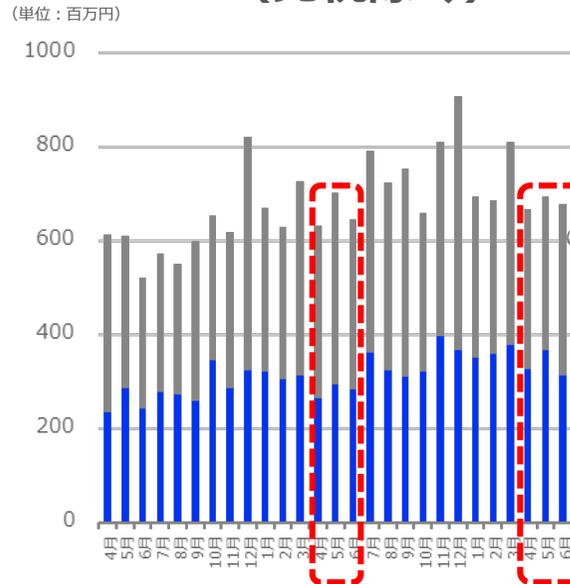


1Q決算ハイライト：チャンネル別 新品/中古品別 売上高推移 SYUPPIN®

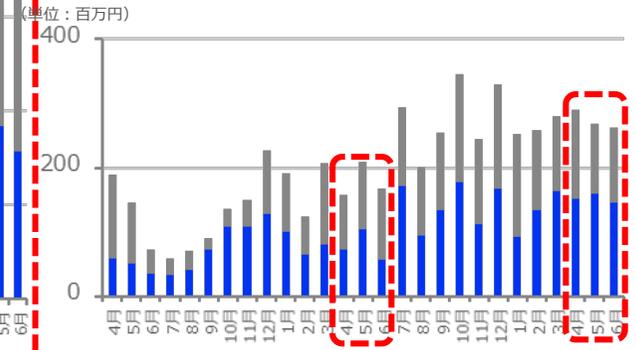
EC売上



店舗売上 (免税除く)

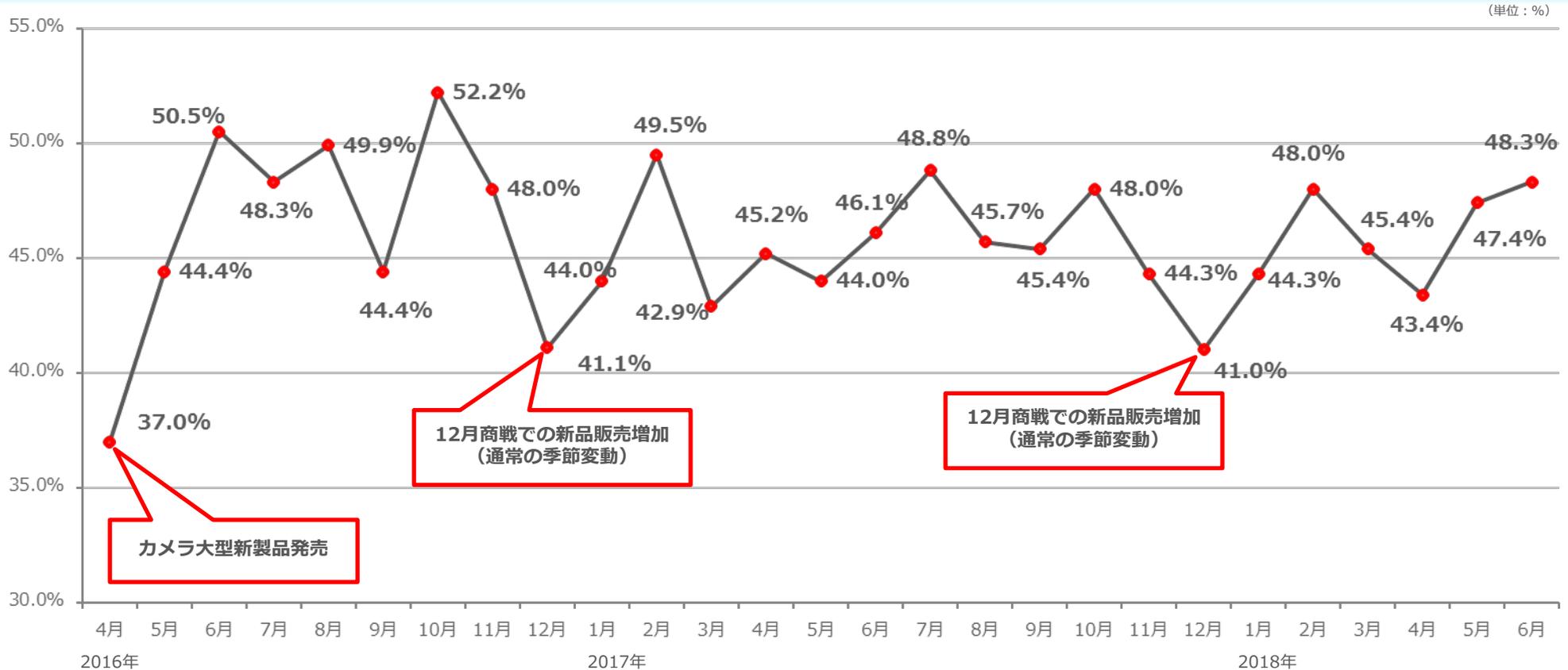


免税売上



決算ハイライト：売上高全体に占める中古品比率推移

カメラ、時計とも中古順調に推移、特に時計中古売上が好調持続

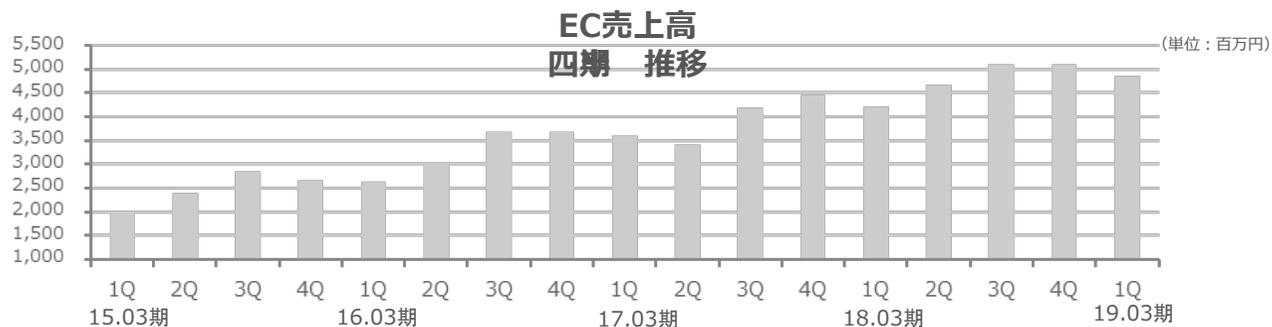


由品比率	17.期				18.期				19.期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
	43.6%	47.3%	46.9%	45.9%	45.1%	46.4%	44.1%	45.8%	46.4%

- ▶前年同期比 **増収、増益** 利益伸び率が若干低いのは、物流スペース拡張費用等の増加
- ▶**粗利率** 18.3期1Qからは、▲0.4%pt
 要因：時計好調による売上高構成比率の変化（時計の粗利率は、カメラより低い）
前四半期（18.3期4Q）からは、+0.5%ptの改善
 18.3期4Q（1～3月）16.2% ⇒ 19.3期1Q 16.7%
 要因：カメラ中古粗利率の改善、中古売上高構成比の上昇

	18.0期 1Q		19.0期 1Q				
	績	構比	績	構比	前同期比	差	差比
売上高	6,744	-	7,741	-	114.8%	7,655	+85
売上総益	1,151	17.1%	1,290	16.7%	112.1%	-	-
	832	12.3%	944	12.2%	113.5%	-	-
営業利益	318	4.7%	346	4.5%	108.5%	354	▲8
経営利益	316	4.7%	343	4.4%	108.6%	351	▲8
当業利益	217	3.2%	235	3.0%	108.2%	240	▲5

(単位：百万円)



事業別業績の前年同期比較

(単位：百万円)

事業・販売チャネル		18.03期 1Q	19.03期 1Q		備考
		実績	実績	前年同 比	
 カメラ事業	E C売上	3,409	3,942	115.6%	▶ E C売上が順調に伸長、 店舗伸び率は前年同期大型新製品売上の影響 ▶ One To One施策による買取、販売の好循環により、セグメント売上、利益共に順調に推移
	店舗売上	1,421	1,444	101.7%	
	カメラ売上計	4,830	5,387	111.5%	
	セグメント利益	388	440	113.4%	
 時計事業	E C売上	638	752	117.8%	▶ EC、店舗 が好調 【好調要因】 ・ 戦略的な商品ラインアップの拡大 ・ One To One施策による効果 ▶ セグメント利益増 ▶ 国内・インバウンドとも高額系商品が伸 益 増
	店舗売上	1,040	1,363	131.0%	
	時計売上計	1,679	2,115	126.0%	
	セグメント利益	86	110	128.2%	
 筆記具事業	E C売上	99	86	86.7%	▶ セグメント利益増 ▶ 国内・インバウンドとも高額系商品が伸 益 増
	店舗売上	40	38	93.5%	
	筆記具売上計	140	124	88.7%	
	セグメント利益	13	7	▲56.2%	
 自転車事業	E C売上	73	87	118.8%	▶ 中古品売上の減少により、利益ともに減 ▶ オムニ戦略（E Cによる集客、店舗販売強化）により売上順調に伸長 ▶ 「クラウンギアーズYahoo!店」出店（4月）
	店舗売上	21	26	124.8%	
	自転車売上計	94	113	120.1%	
	セグメント利益	▲2	▲2	-	
合計	E C売上	4,220	4,867	115.4%	
	店舗売上	2,524	2,873	113.8%	
	売上高合計	6,744	7,741	114.8%	

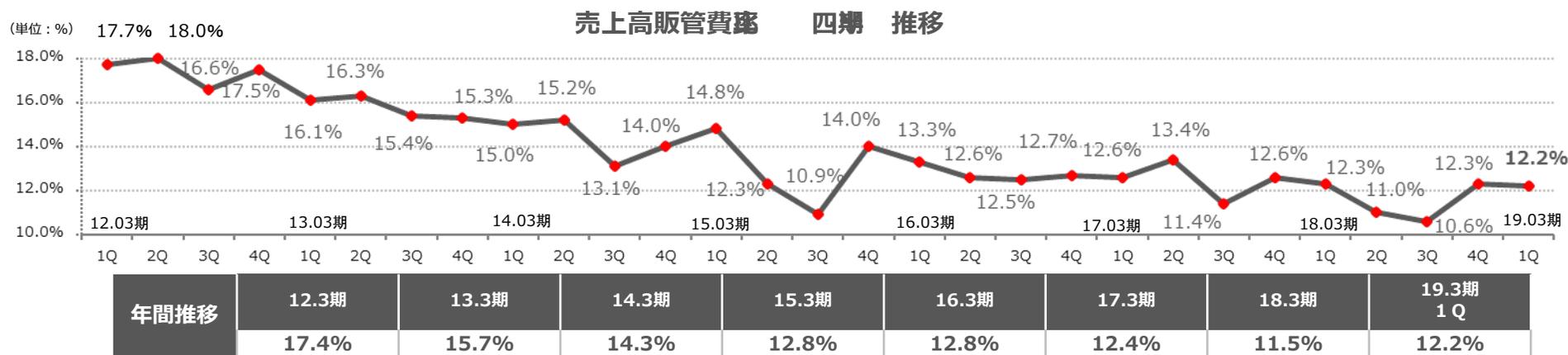
販売管理費の前年同期比較

▶ **売上高販管費比率：12%台**

▶ **売上増加に伴い販売促進費、支払手数料は増加（変動費）**

(単位：百万円)

	18.0期 1Q		19.0期 1Q		前年同期 比	
	実績	売上比	実績	売上比	売上比 (P T)	増減
人件費	265	3.9%	275	3.6%	▲0.3	+9
広告宣伝費	14	0.2%	11	0.1%	▲0.1	▲2
販売促進費	131	2.0%	143	1.8%	▲0.2	+11
業務委託費	36	0.5%	48	0.6%	0.1	+12
支払手数料	171	2.5%	197	2.6%	0.1	+25
減価償却費	46	0.7%	53	0.7%	-	+7
地代家賃	52	0.8%	65	0.9%	0.1	+13
その他	113	1.7%	149	1.9%	0.2	+36
販売管理費計	832	12.3%	944	12.2%	▲0.1	+112



▶ 買取が順調に推移し、前期末比で「価値ある財庫」が約10億円増加

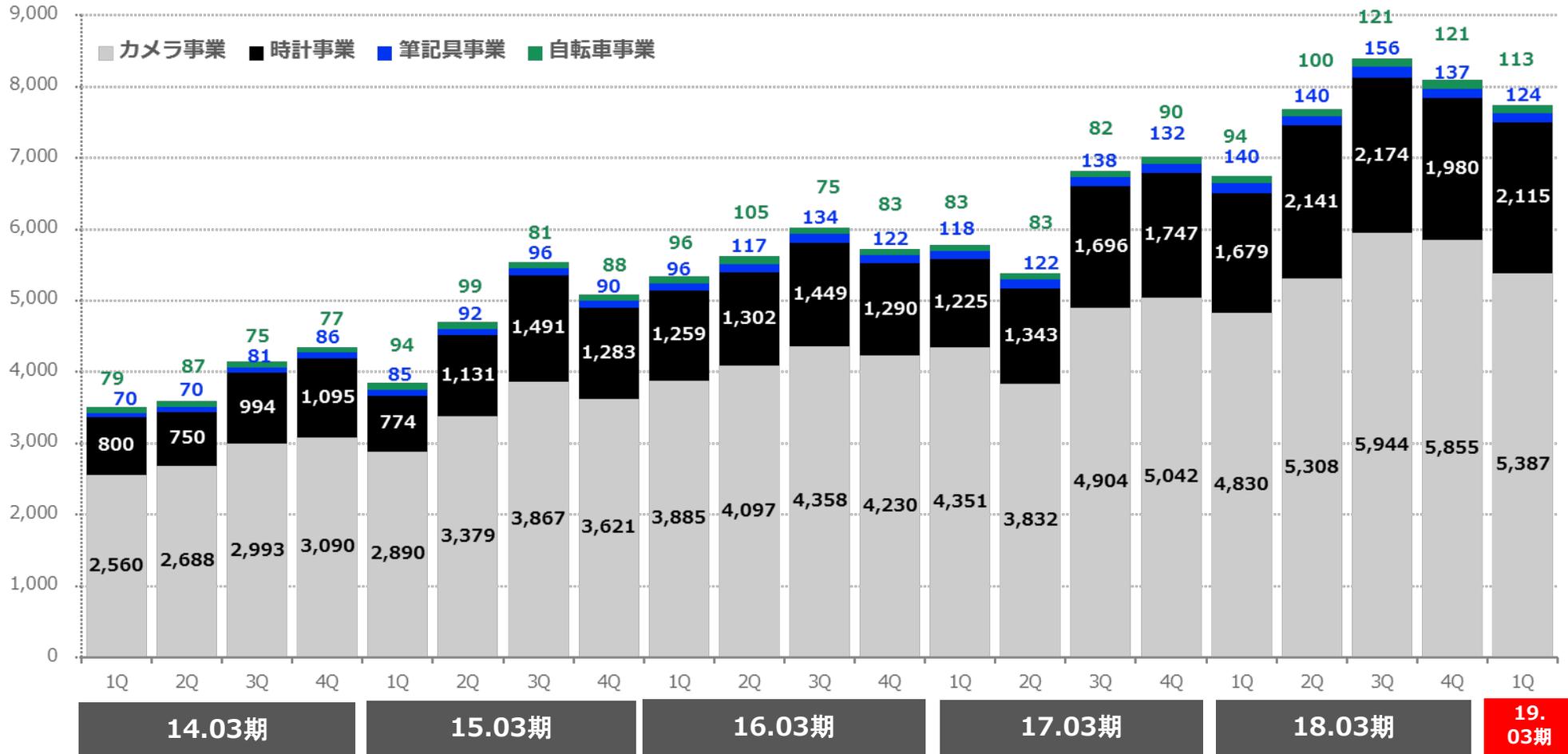
(単位：百万円)

	18.0期 4Q	19.0期 1Q	
		実績	増減
流動資産	7,692	7,987	+295
商品	4,194	5,156	+962
固定資産	1,088	1,190	+102
資産合計	8,780	9,178	+397
流動負債	3,353	3,698	+345
固定負債	1,095	1,151	+56
負債合計	4,449	4,850	+401
純資産合計	4,331	4,327	▲3
負債・純資産合計	8,780	9,178	+397

事業別売上高の四半期推移

カメラ、時計、自転車事業において前年同期比 売上増加

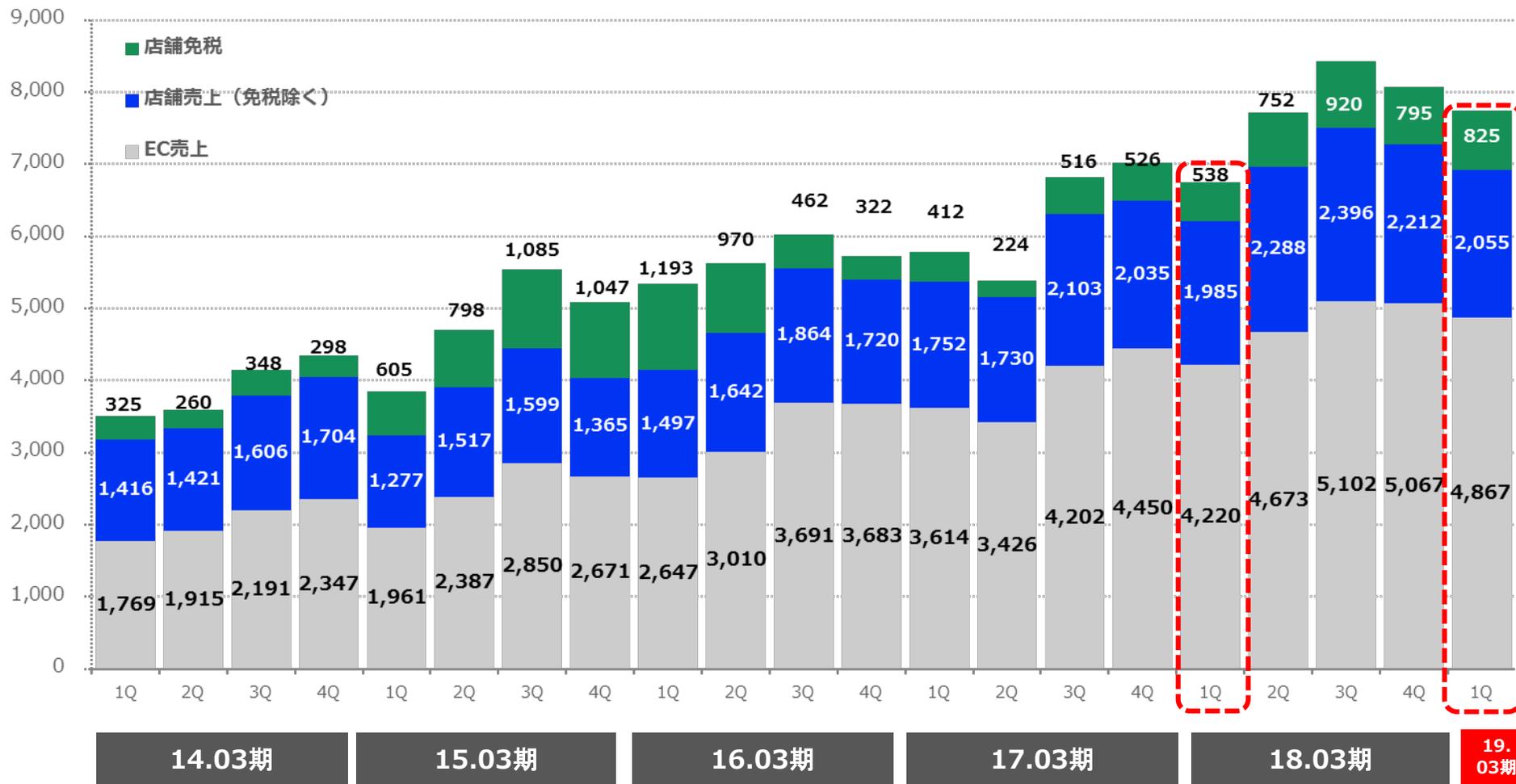
(単位：百万円)



販売チャネル別売上高の四半期推移

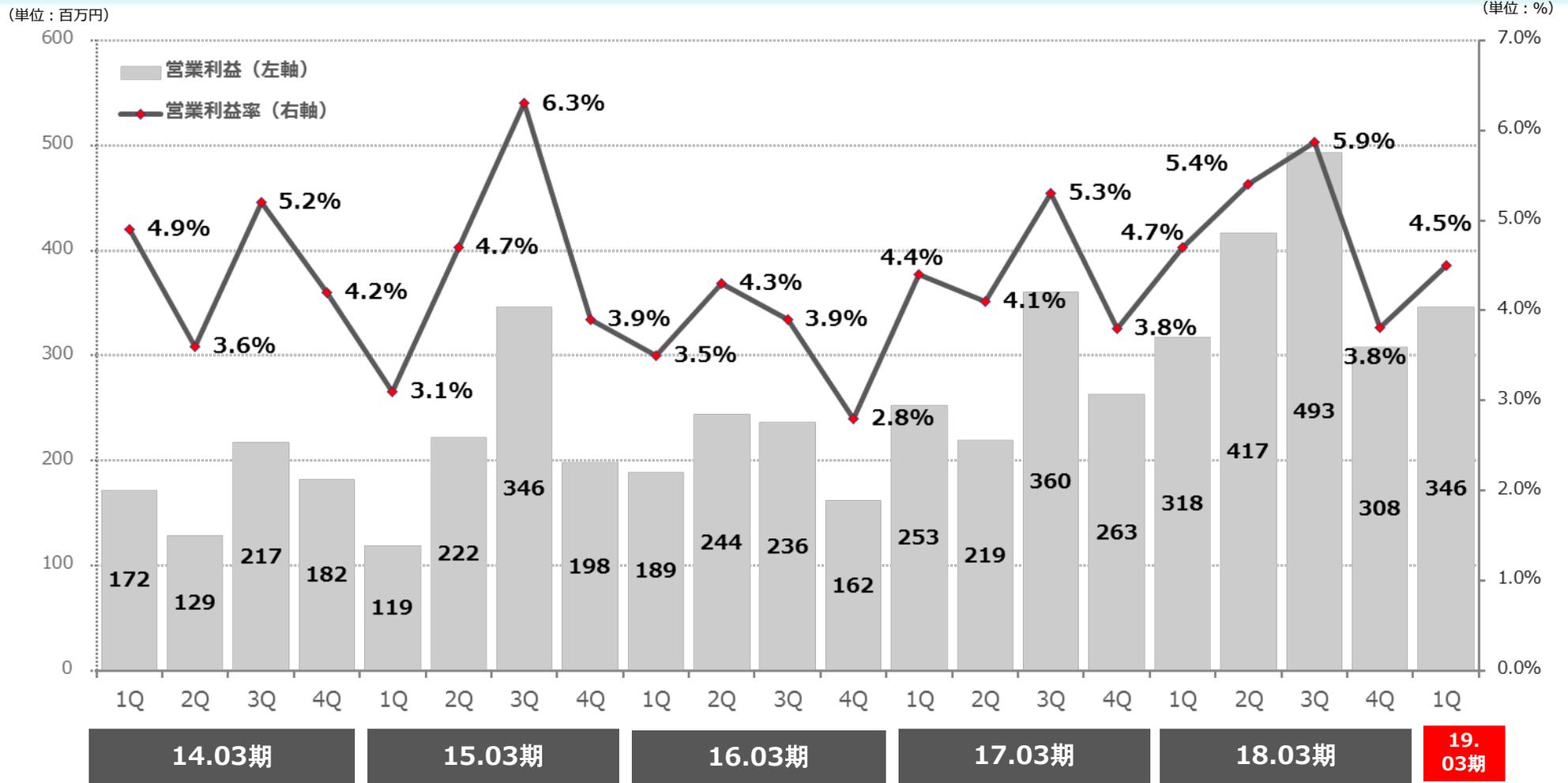
前年同期比：すべてのチャネルにおいて売上増加

(単位：百万円)



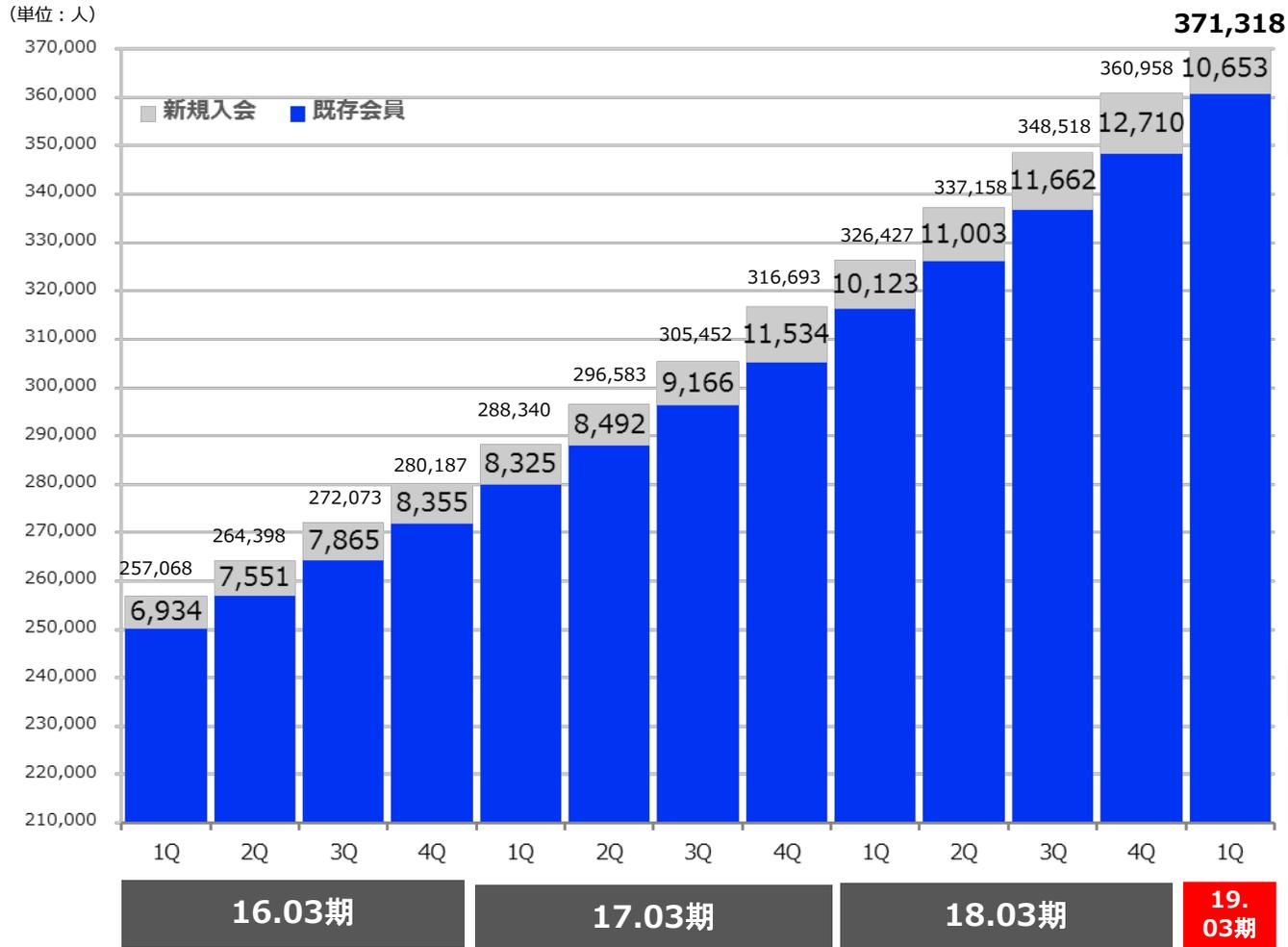
営業利益・営業利益率の四半期推移

- ▶ 営業利益、前年同期比 +8.5%
- ▶ 物流スペース拡張費用、業務効率化のための体制整備こなし増益

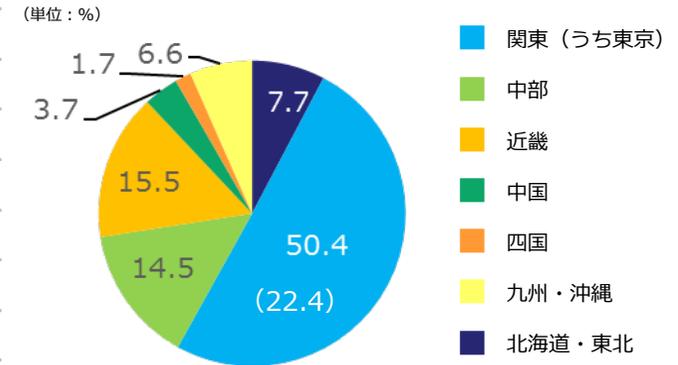


Web会員数の四半期推移、会員属性

- ▶ 新規会員数3,000名台を継続
- ▶ 会員数37万人を突破



Web会員地域分布 (2018年6月末)

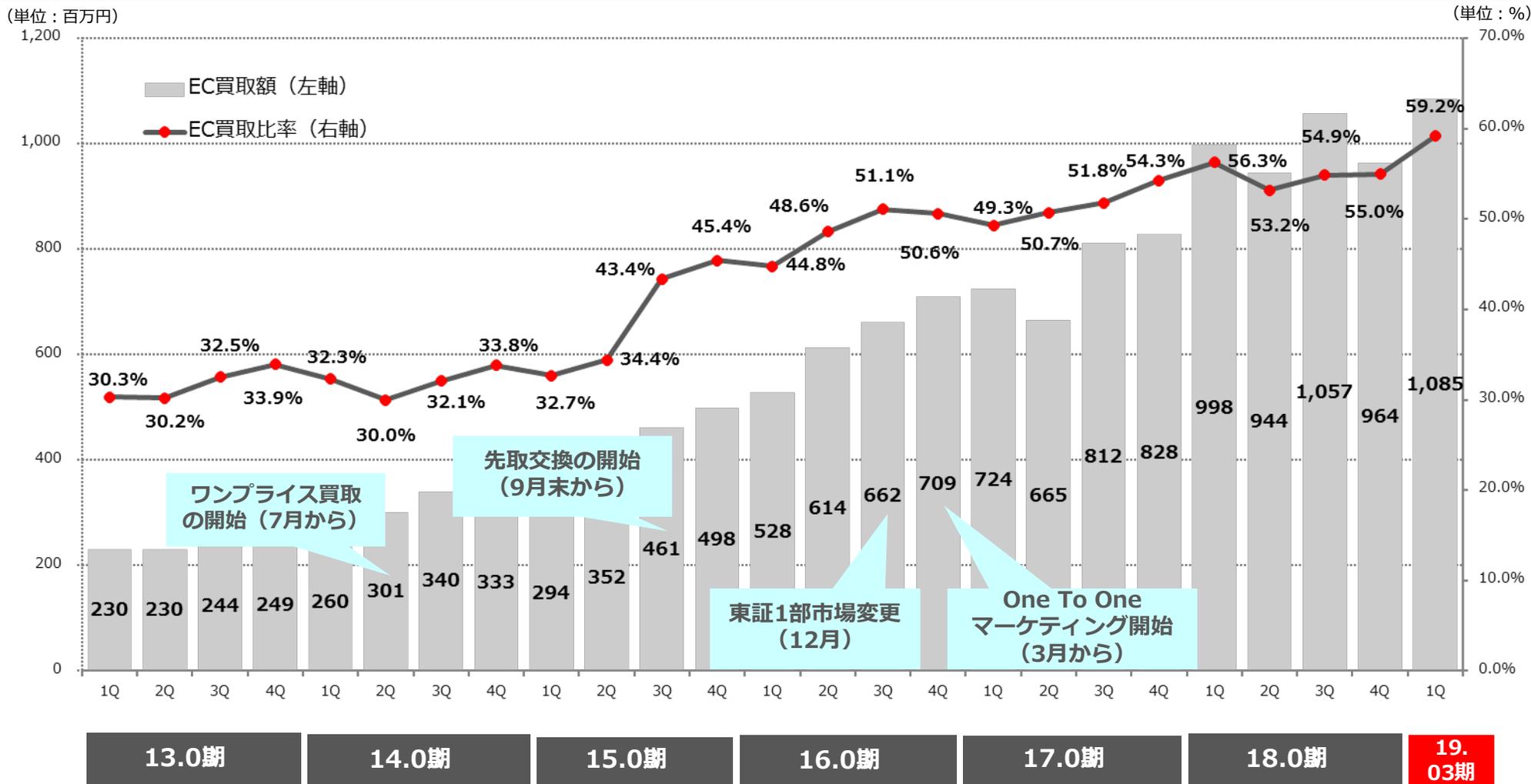


Web会員年齢分布 (2018年6月末)



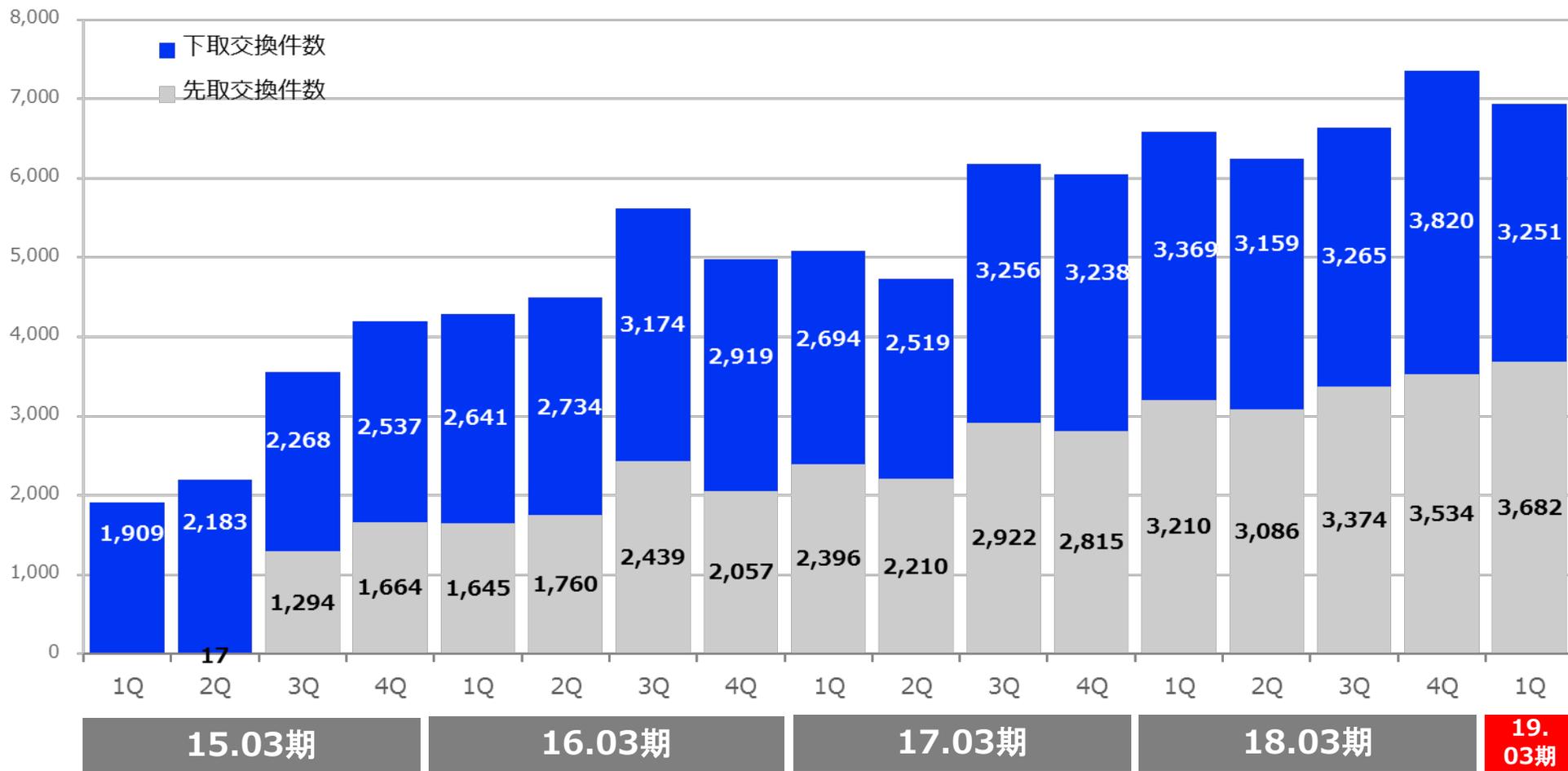
カメラ事業 中古EC買取推移

- ▶ 前年同期比：EC買取額 **+8.7%** 前年同期One to Oneによる大幅伸長から継続して伸び実現
- ▶ One To Oneマーケティング施策の充実が、EC買取の伸びとして効果が出ている



カメラ事業 下取・先取交換件数推移

(単位: 件)



- 本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。